

# 化学療法プロトコル・レジメン登録用紙

登録プロトコル名	パニツムマブ+mFOLFOX 6
診療科	外科
診療科責任者	
申請者名	高屋 誠吾
適応	大腸癌
登録年月日	2018.11.16

抗がん剤名称	投与経路	標準投与量
ベクティビックス	div	6 mg/kg
オキサリプラチン	div	85 mg/m <sup>2</sup>
レボホリナート	div	200 mg/m <sup>2</sup>
フルオロウラシル(bolus)	div(全開)	400 mg/m <sup>2</sup>
フルオロウラシル	civ	2400 mg/m <sup>2</sup>

承認	承認	承認
委員長	副委員長	事務局

## 投与スケジュール: 2週間毎投与

投与順	Rp	経路・時間	-1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#
①	イメンドカプセル(1日目 125mg、2-3日目 80mg)	p.o		●	●	●																									
②	オロパタジンOD錠5mg	p.o		●																											
③	血管確保用 生食 100mL	div		●																											
④	グラニセトロンバッグ3mg/50mL + デキサート6.6mg	div 15min		●																											
⑤	ベクティビックス(6mg/kg) + 生食100mL [全量100mL] (1回投与量として1,000mgを超える場合は、全量150mL とし90分以上かけて点滴静注)	div ※60min		●																											
⑥	フラッシュ用 生食 50mL	div		●																											
⑦	⑦⑧同時に オキサリプラチン(85mg/m <sup>2</sup> ) + 5%ブドウ糖液 250mL	div 2hr		●																											
⑧	⑦⑧同時に レボホリナート(200mg/m <sup>2</sup> ) + 5%ブドウ糖液 250mL	div 2hr		●																											
⑨	⑦⑧終了後、全開で フルオロウラシル(400mg/m <sup>2</sup> ) + 生食 100mL	div 全開		●																											
⑩	インフューザーより 5mL/hr フルオロウラシル(2400mg/m <sup>2</sup> ) + 生食 [全量 230mL]	civ 46hr		●																											

※Rp.5:輸液セットは [ SA-PNF320NM ] を使用(蛋白質透過性のフィルター(0.2または0.22μm)を使用)

開始予定日 あり 年 月 日 なし